

東京駅前常盤橋プロジェクト A 棟建設資金を用途とする 「三菱地所グリーンボンド」発行のお知らせ(3) 発行額 200 億円、利率 0.09%にて本日条件決定

三菱地所株式会社（以下、当社）は、2018年5月18日及び6月12日に発表した三菱地所グリーンボンドについて本日条件決定しました。また、条件決定に伴い、後述の投資家より投資表明を頂いておりますこと、株式会社格付情報投資センター（以下、R&I）より「R&I グリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の本評価を取得したことをお知らせします。

1. 本発行の目的及び背景

当社の ESG への積極的な取り組みを幅広いステークホルダーの皆様により一層認知頂くべく、「グリーンボンド」を発行することと致しました。総合不動産会社によるグリーンボンドの発行は国内初となります。

2. 本発行の概要

| | |
|--|--|
| 名称 | 三菱地所株式会社第 127 回無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)(別称:三菱地所グリーンボンド) |
| 発行年限 | 5年 |
| 発行額 | 200 億円 |
| 利率 | 0.090% |
| 発行日・償還日 | 2018年6月26日・2023年6月26日 |
| 資金用途 | 「東京駅前常盤橋プロジェクト」A 棟建設に関連する支出に充当予定 |
| 取得格付 | AA-(R&I)、A+(S&P グローバル・レーティング・ジャパン株式会社)、A2(ムーデイズ・ジャパン株式会社) |
| 主幹事 | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社、大和証券株式会社 |
| Green Bond Structuring Agent ^{※1} | 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 |
| セカンドオピニオン | グリーンボンドとしての適格性については、第三者評価として、ESG 評価会社である Sustainalytics (サステナリティクス) よりセカンドオピニオンを取得しております。 |
| グリーンボンドアセスメント | R&I による「R&I グリーンボンドアセスメント」の最上位評価である「GA1」の本評価を取得しております。 https://www.r-i.co.jp/rating/products/green_bond/index.html |
| 平成 30 年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例 | 環境省の「平成 30 年度グリーンボンド発行モデル創出事業に係るモデル発行事例」に選定され、グリーンボンドガイドラインへの適合性が環境省および確認機関(イー・アンド・イーソリューションズ株式会社と株式会社日本格付研究所が実施)により確認されたとの公表がなされております。 |

※1 グリーンボンドのフレームワークの策定およびセカンドオピニオン取得の助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

3. 本社債への投資表明投資家

本日時点において、三菱地所グリーンボンドへの投資を表明して頂いている投資家を掲載しております。

＜投資表明投資家一覧＞ (50 音順)

- ・ 学校法人関西大学
- ・ 太陽生命保険株式会社
- ・ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構
- ・ 東京海上アセットマネジメント株式会社
- ・ 学校法人同志社
- ・ 株式会社名古屋銀行
- ・ 日清医療食品株式会社
- ・ 松岡地所株式会社
- ・ マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社
- ・ 三井住友信託銀行株式会社
- ・ 株式会社三菱UFJ銀行
- ・ 三菱UFJ信託銀行株式会社

以上